

BECC JAPAN 2022 プログラム

気候変動・省エネルギー行動会議
事務局 (株)住環境計画研究所
2022年6月20日作成

■ 本会議 2022年7月28日(木) オンライン開催

時間	プログラム	
9:00~9:30 (30分)	開会挨拶・来賓挨拶	
9:30~10:30 (60分)	基調講演(発表・質疑応答含む)	
10:30~10:40	休憩(10分)	
10:40~11:40 (60分)	ポスター発表セッション	
11:40~12:10	休憩(30分)	ランチ休憩(100分)
12:10~13:10 (60分)	スポンサーセッション	
13:10~13:20	休憩(10分)	
	ルーム A	ルーム B
13:20~14:20 (60分)	<u>A1 口頭発表セッション①</u> “スマートタウン/DR” ※20分/件×3件	<u>B1 口頭発表セッション②</u> “サステナブル社会/カーボンフットプリント” ※20分/件×3件
14:20~14:30	休憩(10分)	
14:30~15:30 (60分)	<u>A2 ライトニング発表セッション①</u> “コミュニケーション/省エネサービス” ※10分/件×6件	<u>B2 ライトニング発表セッション②</u> “ビッグデータ/ライフスタイル” ※10分/件×6件
15:30~15:40	休憩(10分)	
15:40~16:40 (60分)	<u>A3 口頭発表セッション③</u> “住宅” ※20分/件×3件	<u>B3 口頭発表セッション④</u> “環境配慮行動” ※20分/件×3件
16:40~17:30	交流会	

※口頭発表時間(1件当たり):発表15分、質疑応答5分

※ライトニング発表時間(1件当たり):発表・質疑応答合わせて10分

- プログラムの詳細
- ルーム A

A1	口頭発表セッション① スマートタウン/DR 司会：未定	
	A1-1	スマートタウン居住者のエネルギー消費に関する実態調査 市村知輝（東京工業大学 環境社会理工学院 修士課程 修了）
	A1-2	家庭向けデマンドレスポンス実証実験 田中洋一（東邦ガス株式会社 技術研究所 課長）
	A1-3	GXによる脱炭素プラットフォーム 岩崎哲（株式会社アイ・グリッド・ラボ 取締役 CTO）

A2	ライトニング発表セッション① コミュニケーション/省エネサービス 司会：未定	
	A2-1	環境訴求マーケティングの効果 秋谷祐二（株式会社インテージ カスタマービジネスドライブ本部企画分析 2 部 環境分野アナリスト）
	A2-2	心理効果を用いた避難誘導表現による正常性バイアス抑制に関する研究 斉藤瑠加（早稲田大学大学院 創造理工学研究科）
	A2-3	北海道における高効率エアコン選択を促すメッセージ手法の検証 土屋友和（株式会社住環境計画研究所 研究員）
	A2-4	北海道における暖房の効率的利用を促すメッセージ手法の検証 小林翼（株式会社住環境計画研究所 研究員）
	A2-5	家庭エコ診断制度における WEB サービスを活用した普及促進 佐伯朗彦（地球温暖化防止全国ネット）
	A2-6	住宅のエネルギー管理からクリーンなピークリソース管理への進化～海外での家庭向け行動型プログラムから学びと考察～ 小林浩人（日本オラクル株式会社 Opower 日本統括）

A3	口頭発表セッション③ 住宅 司会：未定	
	A3-1	CASBEE 健康チェックリストによる断熱改修動機づけに関する研究 坊垣和明（東京都市大学 名誉教授）
	A3-2	家庭用水素蓄電システムに対する太陽光発電実施世帯の考え方 加藤尊秋（北九州市立大学 教授）
	A3-3	住宅居住者の生活意識と窓及び窓付属物の運用状況に関する実態調査 辻果歩（東京大学大学院 工学系研究科 修士課程）

■ ルーム B

B1	口頭発表セッション②	
	サステナブル社会/カーボンフットプリント 司会：未定	
	B1-1	ドイツ滞在から探るサステナブル社会に向けたゲーミング開発 杉浦淳吉（慶應義塾大学 文学部 教授）
	B1-2	環境・サステナブルへ配慮のある商品やサービスに関する消費者の受容性 天野晴子（日本女子大学 家政学部 教授）
B1-3	日本における 1990 年から 2020 年までの家計消費による炭素排出インベントリーの時間的変動 板明果（東北学院大学 経済学部 准教授）	

B2	ライトニング発表セッション②	
	ビッグデータ/ライフスタイル 司会：未定	
	B2-1	ビッグデータを用いた空調機利用実態の解明と日本産業規格との比較 杉山弦太（東京都市大学大学院 環境情報学研究科）
	B2-2	2050 年ゼロエミッション社会実現のためのエネルギー利用実態の解明～電力ビッグデータの解析による家庭部門エネルギー消費の実態解明～ 本田智則（産業技術総合研究所 ゼロエミッション国際共同研究センター 主任研究員）
	B2-3	東京都北区における食品ロス削減に向けたリデュースクッキングの取り組み～リデュースクッキングレシピの開発と普及～ 赤石記子（東京家政大学 家政学部 准教授）
	B2-4	あなた自身が生まれ変わらせる PET ボトルリサイクル～外出先でも PET ボトル分別を促すためのリサイクルボックスをデザインする～ 高雄綾子（フェリス女学院大学 国際交流学部 准教授）
B2-5	エネルギーを多く消費する世帯のライフスタイル 甲斐聡（株式会社インテージ）	
B2-6	小学生を対象とした対戦型の住環境カードゲーム教材の開発に関する研究 古田祥一郎（早稲田大学大学院 創造理工学研究科）	

B3	口頭発表セッション④	
	環境配慮行動 司会：未定	
	B3-1	食の脱炭素化に向けた食行動変容の可能性～情報提供による菜食への意識変化の分析～ 木村宰（電力中央研究所 上席研究員）
B3-2	家庭におけるごみゼロ生活の実測調査及びごみ削減の可能性～ごみが出ない、出さない生活にどこまで近づけるか～	

	三神彩子（東京ガス株式会社 都市生活研究所 所長）
B3-3	サステナブル時代の暮らし方「マインドフルエコライフ」の提案～セグメント別行動変容促進のポイントを探る～
	笹岡恵梨（東京ガス株式会社 都市生活研究所 研究員）

■ ポスター発表

P-1	省エネルギーと電子レンジの効果的活用の検討～使用方法及びあたため直しに関する調査～ 荒木葉子(新渡戸文化短期大学 食物栄養学科 准教授)
P-2	生活者の環境意識・行動の現状と意向に関する調査～「意識してがんばる」から「意識せずに自然にできること」へ～ 木村康代(東京ガス株式会社 都市生活研究所 研究員)
P-3	スマートフォンアプリによる省エネルギー効果のフィードバックに関する研究 梅原周(九州大学大学院 人間環境学府 大学院生)
P-4	ナッジを都市に織り込む～まちなかなッジプロジェクトの取組～ 植竹香織(ポリシーナッジデザイン 代表)
P-5	省インフラで脱炭素・資源循環のまちづくりを～地域コミュニケーションでNIMBYをYIMBYに変えた事例から～ 福田一成(アズビル株式会社 ビルシステムカンパニー マーケティング本部 シニアアドバイザー)
P-6	建築とまちづくりにおけるSDGsカードゲーム型教材の開発～建築とまちづくりにおけるSDGsカードゲーム型教材の開発～ 関根海央(早稲田大学大学院 創造理工学研究科 大学院生)
P-7	ゴミ箱ラベルによるゴミ分別・ゴミ削減 三浦輝久(電力中央研究所 グリッドイノベーション研究本部 上席研究員)
P-8	スイッチ近傍への情報設置による不在時点灯時間の短縮化 糸井川高穂(宇都宮大学 助教)
P-9	幼稚園の園庭における幼児レベルの屋外温熱環境に関する研究 范理揚(日建設計総合研究所 研究員)